

# 観点別評価・評定 について

高知市立南海中学校

令和3年4月9日（金）

# 評価・評定とは

## 観点別評価

- ◆ 各教科においてどの観点の学習状況が優れているか（または課題があるか）を明らかにする評価。
  - ◆ 具体的な学習や指導の改善に生かすことができる
- ※ 令和2年度までの例
- ①関心・意欲・態度 ②思考・表現 ③技能 ④知識・理解など

## 評定

- ◆ 観点別評価を総括的にとらえるもの

※ 令和2年度までの例

①A ②A ③A ④A ⇒ 『5』

①A ②B ③B ④B ⇒ 『3』 など

# 令和2年度までの通知表

## 学習の記録

教科	評価の観点	1学期	2学期	3学期
		評価 評定	評価 評定	評価 評定
社会 会	社会的事象に興味・関心を持ち、学習に意欲的に取り組んでいる。	観 点 別 評 価	評 定	
	社会的事象について幅広く考え、判断し、表現することができる。			
	様々な地図やグラフ、統計や資料などを読み取り、整理することができる。			
	社会的事象や用語を理解し、知識として身につけている。			

### 各教科の観点

# 令和2年度までの通知表

## 学習の記録

教科	評価の観点	1学期		2学期		3学期	
		評価	評定	評価	評定	評価	評定
社会 会	社会的事 関心・意欲・態度	いる。	A		A		B
	社会的事 思考・判断・表現	きる。	A	5	B	3	C
	様々な地 技能	ができる。	A		B		C
	社会的事 知識・理解		A		B	C	
数学的事象に関心を持つとともに、数学的活動の楽しさや数学のトクを実感し、数学を任用して							2

# 評価・評定がなぜ変わるの？

- ◆ 情報化・グローバル化の加速度的進展
- ◆ AIの飛躍的な発達



- ◆ 人間の予測を超えて、社会が変化していく



- ◆ どんなに予測困難な時代でも変化を前向きにとらえ、未来を創造をしていく人材の育成が必要

# 評価・評定がなぜ変わるの？

育成すべき資質・能力の三つの柱

学びに向かう力  
人間性等

どのように社会・世界と関わり、  
よりよい人生を送るか

「確かな学力」「健やかな体」「豊かな心」を  
総合的にとらえて構造化

何を理解しているか  
何ができるか

知識・技能

理解していること・できる  
ことをどう使うか

思考力・判断力・表現力等

# 令和2年度からの変更点

## 観点別評価

◆ 国語5観点、その他の教科4観点が次の3観点到整理されます。

### 令和2年度まで

関心・意欲・態度

思考・判断・表現

技能

知識・理解



### 令和3年度から

知識・技能

思考・判断・表現

主体的に学習に  
取り組む態度

# 令和2年度からの変更点

## 観点別評価

知識・技能



何を理解しているか  
何ができるか

思考・判断・表現



理解していること・できること  
をどう使うか

主体的に学習に  
取り組む態度



①粘り強く取り組んでいるか。  
②自らの学習を調整しているか。



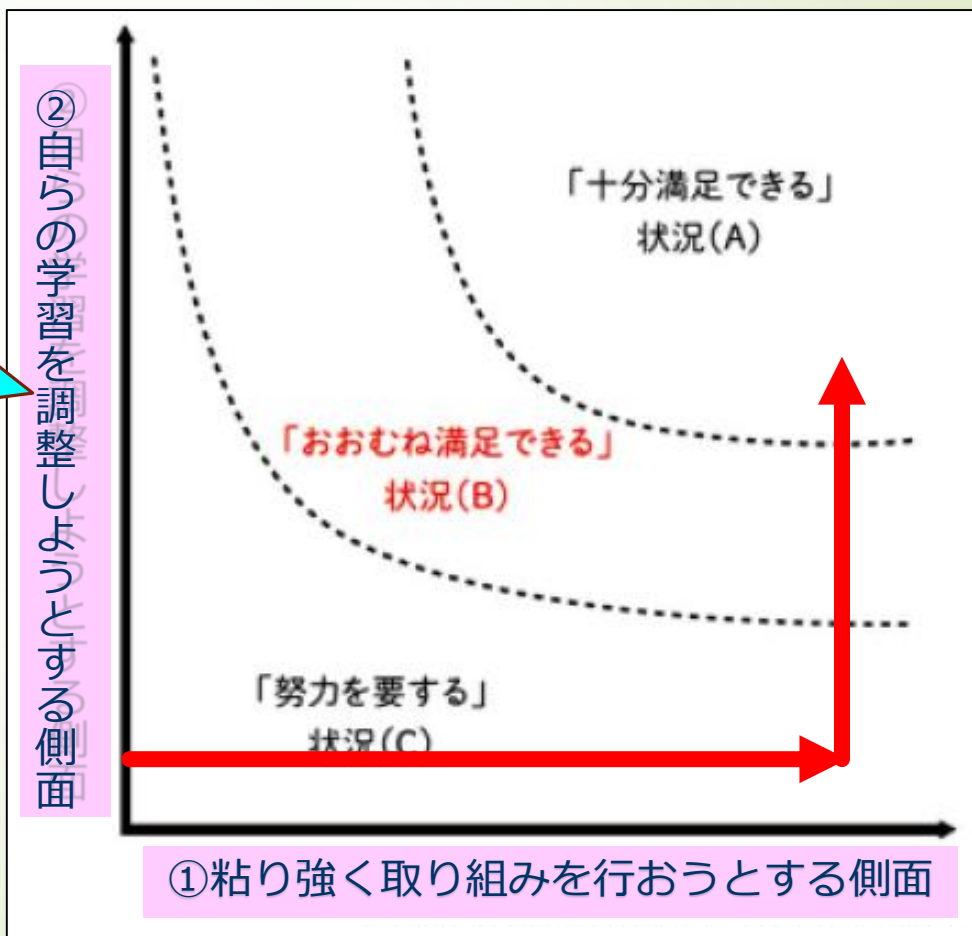
# 令和2年度からの変更点

## 観点別評価

主体的に学習に取り組む態度

周りの人の話を聴いたり、自分で調べたり、前時までの学習内容などから主体的（アクティブ）に新しい解き方や考え方を身に着けようとする。

単に粘り強く取り組むだけではなく、知識や技能の獲得、思考力・判断力・表現力を身に着けるために自らの学習を調整しなければならない。



# 令和2年度からの変更点

## 観点別評価

- 「十分満足できる」場合は『A』, 「おおむね満足できる」場合は『B』, 「努力を要する」場合は『C』がつけます。
- 各観点で複数回行った評価結果A, B, CをそれぞれA = 3、B = 2、C = 1として数値化し、平均して総括します。総括の結果2.5以上を『A』、1.5以上を『B』、それより下を『C』として算出します。

評価	観点別平均値
A	3.0 $\geq$ 平均値 $\geq$ 2.5
B	2.5 > 平均値 $\geq$ 1.5
C	1.5 > 平均値 $\geq$ 0

# 令和2年度からの変更点

## 評定

- ◆ 観点別評価を総括して5段階で示すもの。
- ◆ 観点別評価をそれぞれA = 3、B = 2、C = 1として数値化し、その合計で評定を算出する。

	観点別評価			観点 合計値	評定
	I	II	III		
①	A	A	A	9	5
②	A	A	B	8	4
③	A	B	B	7	3
④	A	A	C	7	3
⑤	A	B	C	6	3

	観点別評価			観点 合計値	評定
	I	II	III		
⑥	B	B	B	6	3
⑦	A	C	C	5	3
⑧	B	B	C	5	3
⑨	B	C	C	4	2
⑩	C	C	C	3	1

# 令和3年度からの通知表

## 学習の記録

教科	評価の観点	1学期	2学期	3学期
		評価 評定	評価 評定	評価 評定
社会	各教科の観点	観点別 評価	評定	
会				

# 令和3年度からの通知表

## 学習の記録

教科	評価の観点	1学期		2学期		3学期	
		評価	評定	評価	評定	評価	評定
社会	知識・技能	A		A		B	
	思考力・判断力・表現力	A	5	B	3	C	2
	主体的に学習に取り組む態度	A		B		C	
会							

# 令和2年度からの変更点

## 定期テストから単元テストへの移行

### 【理由】

単元のまとめりごとに学習状況を確認することで、学習の遅れがあった場合、**早い段階で支援を行う**ことができる。

### 【具体的な取り組み】

- 一定のまとめりごとに年間10回程度テストを行う。
- テストを行う日を1週間前をめどに発表し、各学年同じ教科は同じ時間帯にテストを実施する。
- テストの結果支援が必要と思われる生徒を各教科の先生が指名し、**放課後学習を中心として支援**を行う。

# 令和2年度からの変更点

## 定期テストから単元テストへの移行

【学力診断調査の実施】 ※令和2年度から継続

- 単元のまとまりごとにテストを行うため、比較的長い期間でも学習の定着を確かめる必要がある。
- 一定の期間で1年生の4月からの学習内容を振り返る必要がある。

【具体的な取り組み】

- 全学年、年間5回学力診断調査を実施する。
- 学力に課題がみられる生徒には長期休業中に支援を行う。
- 3年生は進路指導の判断材料に用いる。